

# 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

HP : <https://www.savechildren.or.jp/>

## 団体概要

子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際組織。子どもの権利のパイオニアとして、国連や各国政府からもその専門性を認められ、現在世界約120ヶ国で活動。(1919年にイギリスで創設、1986年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが設立)海外では、保健・栄養、教育などの分野で活動するほか、長期化するシリアやイエメンなどでの紛争や自然災害の影響を受けた子どもたちへの緊急・人道支援を実施。また、国内では、子どもの貧困問題解決や子ども虐待の予防などに向けた事業のほか、地震や台風、豪雨などの大規模災害における緊急・復興支援を通して、子どもの権利を実現する活動を行う。

## 支援対象

小学校/中学校/高等学校/特別支援教育/その他:PTA・教職員研修等

## 活動内容・活動状況

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが、学校に提供できる主なプログラムは以下になります。

- SDGsを理解し、「自分ゴト化」し、アクションにつなげよう(ワークショップ)  
セーブ・ザ・チルドレン発行による「先生・ファシリテーターのための持続可能な開発目標-SDGs-アクティビティ集」に掲載しているアクティビティを使った授業です。授業で実施可能なアクティビティは、下記から選ぶことができます。

[https://www.savechildren.or.jp/lp/sdgs\\_activity/](https://www.savechildren.or.jp/lp/sdgs_activity/)

過去に実施した授業の様子などは以下のリンクよりご参照ください。

- ・2022年3月18日(金) 上田染谷丘高等学校での出前授業
- ・2021年9月7日(火) 安曇野市立豊科南小学校での出前授業
- ・2021年4月20日(火) 長野市立川中島中学校での出前授業

対象年齢:小学校高学年～高校生

## 対応可能時期

日程が合えば随時可能

## 必要経費

講師派遣など、セーブ・ザ・チルドレンスタッフの派遣に際しては、当団体規定の謝金、及び交通費などの実費をご請求します。

## 会場・定員・必要備品等

授業やアクティビティの内容によりますので、担当にお問い合わせください。

### ●アクティビティを通して考えよう 子どもの権利(ワークショップ)

子どもたちにとって、「子どもの権利」がより「身近なもの」になり、自分たちの生活に「役立つもの」と感じられるようアクティビティやワークを通して考える授業です。本授業では、「子どもの権利」の一般原則に該当する次の4つの権利(差別されない権利(第2条)、子どもの最善の利益(第3条)、生存と発達の権利(第6条)、意見を聴かれる権利(第12条))を中心に学ぶことができます。子どもたちが安心・安全だと感じられる環境で自分の考えを述べ、他者の意見を尊重することを学び、「子どもの権利」を通して、子どもたち一人ひとりが「最もよい」と考えることを実現するための道筋をグループで考えます。

学校の学習状況や先生の希望により、授業内容を選ぶことができます(各コンテンツは1回45分を想定)。

どのコンテンツを授業で実施するか、担当者にご相談ください。なお授業はオンライン/対面での実施が可能です。

対象年齢:中学生~高校生

現在公開中のアクティビティなど、詳しくは特設サイトもご参照ください。

<https://www.savechildren.or.jp/oyakonomikata/kodomo-no-kenri/learning-kit/>

### ●子どもの貧困について子どもたちと一緒に学び考える講座(ゲーム・コンテンツを使いながら)

工学院大学の研究室と共同開発した、パソコンゲームを使いながら子どもの貧困問題や子どもの権利について学ぶことができます。詳しくは当会ウェブサイトをご覧ください。

[https://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc\\_activity.php?d=3822](https://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=3822)

対象年齢:中学校、高等学校、義務教育学校、(13-17歳)

### ●子どもたちと楽しみながら学ぶ防災講座(工作やゲームを使いながら)

近年頻発し、その影響が大きくなっている自然災害について、災害時の対応や平常時からの防災活動に関するクイズやゲーム、工作などを用いて学ぶ講座を実施します。対象年齢によりプログラムの時間や内容については調整可能です。

対象年齢:小学校1~6年生

#### 担当者より一言

セーブ・ザ・チルドレンが専門とするテーマ(子どもの権利 SDGs、子どもの貧困問題、防災など)について、教員のみなさま、子どもたちと学びの機会を持ちたいと思います。興味をお持ちの場合、TEPRO Supporter Bank システムを通じてお問い合わせください。TEPRO のコーディネーターがフォローすることも可能です。

(TEPRO コーディネーター連絡先:03-5989-1630)